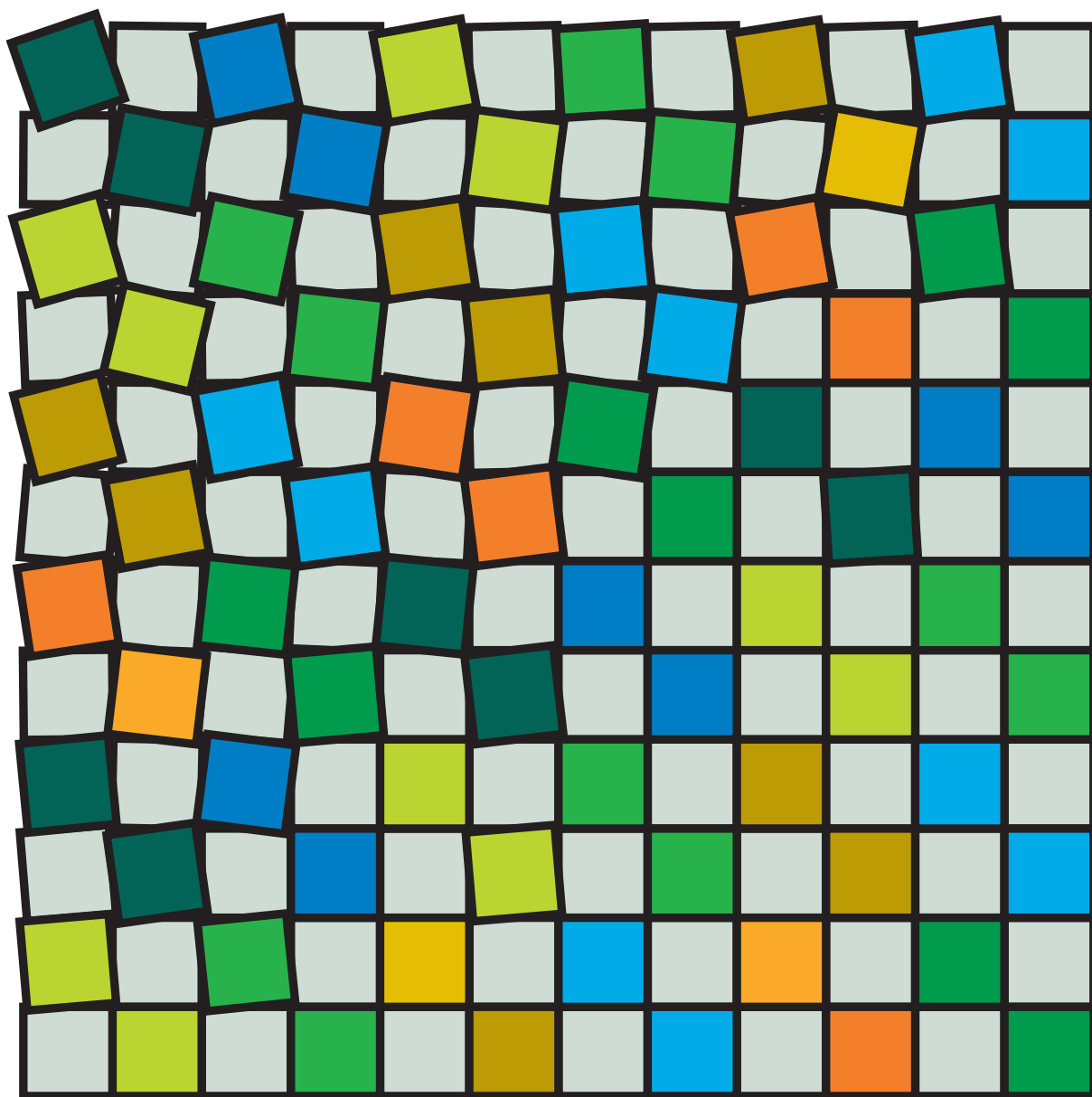


平成22年度秋季企画展

古代西除川沿いの 集落景観

2010年10月9日(土) ▶ 12月5日(日)

主催 | 大阪府立狭山池博物館 / 大阪狭山市立郷土資料館
後援 | 大阪府教育委員会 / 南海電気鉄道株式会社 / 大阪府都市開発株式会社



治水灌漑の土木遺産を継承する
大阪府立 狭山池博物館

OSAKA PREF. SAYAMAIKE MUSEUM

◎開館時間＝午前10時から午後5時まで(入館は午後4時30分まで) ◎休館日＝毎週月曜日(月曜日が祝休日の場合は翌日) ◎入館料＝無料

平成22年度秋季企画展

古代西除川沿いの 集落景観

7世紀に誕生した狭山池は、治水や灌漑をつうじて、下流にひろがる南河内台地の社会や文化の形成に大きな役割をはたしてきました。本館の博物館活動の目的のひとつは、このような土地開発の歴史を明らかにするとともに、世界に誇れる土木遺産である狭山池を地域アイデンティティー創造の拠点として活用することです。

狭山池下流域にあたる松原市域の西除川沿いの遺跡では、大規模な発掘調査が進み、古代からの土地開発や地形環境と土地開発方式に大きな影響を与えてきた西除川の歴史が少しずつわかってきました。

そこで平成22年度秋季企画展は、最新の発掘調査成果をもとにして、古代の開発の様子を紹介する「古代西除川沿いの集落景観」をおとどけします。



大和川今池遺跡…
古代の集落から見つかった土器
(8世紀後半～9世紀前半)



堀遺跡…条里型地割内の小区画水田(8世紀後半～9世紀前半)



池内遺跡…開発をすすめた有力者の屋敷地(10世紀)



河合遺跡…大溝(7・8世紀)

紹介する遺跡とその見どころ

- 池内遺跡 —— 在地有力者の屋敷地と荘園管理施設
- 大和川今池遺跡 —— 大規模集落に浮かびあがる古代の生活
- 高木遺跡 —— 水田区画から建物区画へ
- 堀遺跡 —— 微地形の変化と水田造成
- 河合遺跡 —— 大溝と官衙
- 難波大道 —— 古代の道路建設

展示品は、集落の年代や性格を物語る須恵器、土師器、黒色土器、瓦、硯、木製容器、祭祀具、青銅製品などです。

歴史講演会 (先着順・定員126名) 時間=午後2時から午後4時(午後1時から受付) 会場=大阪府立狭山池博物館ホール

第1回 10月23日(土)「古代農耕と動物祭祀」

講師=工楽 善通(大阪府立狭山池博物館館長)

第3回 11月6日(土)「古代の治水と狭山池」

講師=小山田 宏一(大阪府立狭山池博物館学芸員)

第2回 10月30日(土)「律令社会の考古学」

講師=坂井 秀弥(奈良大学教授)

第4回 11月13日(土)「古代の開発とミヤケ」

講師=館野 和己(奈良女子大学文学部教授)

◆ 本館学芸員による展示解説 特別展示室・毎週土曜日午前11時から30分程度

治水灌漑の土木遺産を継承する

大阪府立 狭山池博物館

OSAKA PREF. SAYAMAIKE MUSEUM

◎所在地=〒589-0007 大阪府大阪狭山市池尻中2丁目 ◎電話番号=072-367-8891 ◎FAX番号=072-367-8892

◎ホームページ=<http://www.sayamaikehaku.osakasayama.osaka.jp/>

◎交通=南海電鉄なんば駅より高野線にて大阪狭山市駅下車、西へ約700m。博物館には専用駐車場(大型バス・車いす使用者は除く)がありませんので、ご来館の際は公共交通機関をご利用ください。大型バスでご来館の場合は、事前にご連絡ください。

◎狭山池博物館は、大阪府、大阪狭山市、狭山池まつり実行委員会が協働して運営しています。

